



まるで旅館を訪れたような気分になる玄関先



玄関に入ると、客間にも直接出入りできる広々とした土間が



上／土間に上がる際の敷台は一枚板を取り入れて空間の格をアップ。右／扉に細工を施した大きめサイズの靴箱を設置したことで玄関は常にすっきり

古民家が再生してゆく過程に思わず心奪われて

真新しい住宅が並ぶ一角に、凜々しく佇む〇さんの家。実は以前からこの土地で暮らしていたが、市区画整理で2年ほど別の場所に転居、3年前に再び同じ場所に戻ることになったという。「だから、思いがけなく人生2度目の家づくり。でもね、お願いして本当に良かったと思っています」と〇さんは笑う。

定年までメーカーに勤め上げた後、陶芸家に転身、現在では車で数分のところにアトリエも構える〇さん。そのアトリエの向かいで、「ハウスランド社」の古民家再生が始まつたことが、両者の出会いのきっかけだった。「ボロボロの古民

家が見事に生まれ変わっていく様子を間近で見ていて本当にすごいなあと。現場で働いている職人たちも皆、気持ちがいい方ばかりでね。自分が再び家を建てることになった時は、ぜひお願ひしようと思ったんです」。

陶芸と建築、業界は違えど、日本の人情らしい伝統や技術を守り、未来に残して行くことに力を注ぐ心は同じ。意見を交換しながら完成した家は、快適なくらしが美しい意匠が共存するものになつた。「新築祝いには、家族を含め25人ほどお祝いに駆けつけてくれて盛り上がりました。中でも外国人の友人は和のしつらえに非常に関心し、興味を持つてくれたんですよ」。

豊かな毎日に寄り添う大人の和モダンスタイル

「ハウスランド社」がつくった
筑紫野市在住／〇さんの住まい

人生で2度目に迎える家は

これからをもっと豊かにするものに。

日本が誇る逸材を取り入れながら

職人の仕事が生きた空間は、

今、たくさん的人が集まる家へ。



【リビング】

和のゾーンから、廊下を隔てた反対側には洋のゾーンが。「キッチン、リビング、それに書斎までが1つの空間に集まって過ごしやすいです」と〇さん。